

# 花の兄弟 (1961)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1961/12/27

## 【解説】

「社長道中記」の笠原良三によるオリジナル脚本を「かげろう侍」の池広一夫が監督し、市川雷蔵と橋幸夫が共演した明るい時代劇。仇討ちをテーマにしながらコメディ要素を前面に押し出している。

香山市之進は父の仇を討つため諸国を放浪していた。香具師お仙と道連れになった市之進は、旅籠の亭主から親の仇が相坂伊織であることを知らされる。だが道中で財布をすられ無一文となってしまう、お仙のガマの油売りを手伝うことに。そこで数年前に生き別れた弟の新次郎と再会を果たすが、新次郎が大親分勘右衛門の世話になっていることを知り、堅物の市之進はいったん縁を切ると言い出す。だが相坂伊織に近づくため、市之進もまた勘右衛門の子分にしてもらったのだった。

## 【クレジット】

監督 池広一夫

企画 高森富夫

脚本 笠原良三

撮影 本田平三

美術 加藤茂

音楽 吉田正

出演 市川雷蔵

橋幸夫

姿美千子

水谷良重

森川信

若水やエ子

石黒達也

寺島貢